

自己点検・評価報告書

(平成28年度)

学校法人 ビューティー総合学園
静岡アルス美容専門学校

自己評価報告書

(平成28年度)

[学校の教育目標]

校訓 明るく、元気に、一生懸命

- 教育目標
1. 学生一人一人に目を向けた教育に努める
 2. 即戦力を身につけた、美容業界を担う人材を育成する
 3. 国家試験合格率、就職率、100%
 4. 仕事から喜びを伝えることができ、社会から必要とされる人間を育成する
 5. 最先端の技術、マナーを身につけ、お客様から愛され活躍できるプロを育成する

| | | |
|------|-------|---|
| 評価基準 | 適切 | 4 |
| | ほぼ適切 | 3 |
| | やや不適切 | 2 |
| | 不適切 | 1 |

学校法人 ビューティー総合学園
静岡アルス美容専門学校

1. 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・学校の教育理念並びに教育目標、育成人材像は明確に定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか。) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校における職業教育の特色は何か。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教育目標、育成人材像は学生等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

入学前にガイダンス等で保護者、学生への説明の機会を設けている、更に周知徹底していきたいと思われる。

〔改善のための方策〕

入学ガイダンス、入学式等で資料配布、説明を繰り返す。

体験入学等でも実施していく。

定期的に学校の特徴を説明していく。

2. 学校運営

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・人事・給与に関する規定等は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムが整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・業界や地域社会等に対する規則及び倫理・道徳を遵守する体制が整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

諸規程は定期的な見直し、その時に適った、充実されていく必要がある。

教育活動等の情報公開をより細かく表示していく必要性

〔改善のための方策〕

諸規程の見直し、内容の精査、教職員の勉強会を開催。

教職員が自ら運営管理に関心を持ち意見交換のできる組織を考える。

ホームページに情報公開、学校の特徴も工夫して伝えていく。

3. 教育活動

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた修業年限での教育到達レベルや学習時間の確保は明確されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・カリキュラムは教育目標が反映されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の開発などが定期的実施されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連企業や関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直しがなされているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・テキストや教材は適切なものを選定しているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・シラバスが作成され教員学生に把握されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・授業の点検・評価が適切に実施されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・成績不振の者への指導について。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・国家試験不合格者の対策をしているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・人材育成目標の達成に向け、指導のできる要件を備えた教員を確保しているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・職員の為の能力開発の研修等が行われているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

定期的な見直しと改善が必要。

職員への教育、研修の実施。

新たな技術の導入、実践的スキルアップの研究工夫。

〔改善のための方策〕

授業見学、公開授業の実施、指導力向上のための工夫改善。

第三者的視点からの授業評価の導入。

シラバスの公表、内容の精査、指導法の共有、教員間の指導法の差異をなくす。

教員の採用、余裕を持ち研究、教育の工夫。

4. 学習成果

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・資格取得率の向上が図られているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・退学率の低減が図られているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

作人に続き就職後のフォロー、離職防止への取り組みが必要。

入学生の定員不足。

募集に工夫、学校資料の見直し。

授業時間外でのやる気のある生徒の指導を工夫。

〔改善のための方策〕

関連業種（ブライダル・ネイル・福祉美容・マツエク）求人開拓。

授業時間外（放課後）テーマを決めて指導。

5. 学生支援

| 評 価 項 目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・奨学金等、経済的なことの相談に応じる体制が出来ているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・各学校行事について、適切な事後反省を行っているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学生の健康管理を担う体制があるか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・保護者と適切に連携しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・卒業生への支援体制があるか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

就職活動の意識づけ（定期的アンケートを1年次より開始）。

学生一人一人に向き合ってゆっくり話す時間が少ない。

経済的理由でアルバイトに時間を費やす学生が見受けられる。

就職面接の変化、面接指導の必要性。

〔改善のための方策〕

学校独自の経済支援を工夫。

保護者の公開授業、懇談会の実施、学生の様子を伝える情報誌を発行。

最近の面接の傾向、ロールプレイングを繰り返し行う必要。

6. 教育環境

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・実習設備は整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・防災に対する体制は整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教室・実習室の管理は適切に行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生が自習できる環境が整っているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・図書室は適切に整備されているか。 | 4 | 3 | ② | 1 |
| ・保健室は適切に整備されているか。 | 4 | 3 | ② | 1 |
| ・教育用機器備品は整備されており活用されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教員、事務室の管理は適切に行われているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

施設設備において、地震等に十分な安全確保が取られていない。
図書室、保健室の整備。
教育設備の補充。

〔改善のための方策〕

避難訓練、ロッカー等の転倒防止策。
非難経路、荷物の保管方法を工夫。
災害講習会参加。
閲覧票の作成、在庫の確認。
実習教材の補充、予算の確保。

7. 学生の受け入れ募集

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・募集要項の内容は適切か。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・中途退学の理由を把握しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

広報活動の年間予定、予算の決定。
授業料、教材費等の他校との差別化が少しずつ図られてきている。

学校案内の作成、予算不足。
定員確保が困難。

〔改善のための方策〕

体験入学の開催回数や内容の見直し。
学生募集における費用対効果の分析。
経済的理由を抱える学生や入学希望者への支援体制を充実。
会場、学校ガイダンスへの参加

8. 財務

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・長中期的な学校の財務基盤は安定しているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・予算、収支計算は有効かつ妥当なものになっているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・財務情報の公開、体制整備はできているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

定員確保と適正な経費率の算出（人件費等）。

〔改善のための方策〕

部門ごとの予算作成、執行状況の確認と情報共有をはかる。
長期的目標、予算の作成。

9. 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価結果を公開しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

在校生だけでなく、高校生の個人情報を多く抱えているため、より徹底した管理を検討する必要がある。
自己評価の定期的実施、会議時間の延長。

〔改善のための方策〕

個人情報の取り扱いについて再確認のため教職員の学習会を開催。
個人情報保護のための「使用に関する同意書」作成、徹底。

学校法人ビューティー総合学園 学校関係者評価報告書

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|-----------|--|
| 1 学校理念・目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校理念、目標を明確にしていることは評価できる。 ・国家試験合格（29年3月100%合格）、就職率の実績は高い評価ができる。 ・専門学校としての基盤を強化するため、業界の情報を把握し事業計画に組入れることを引き続き実施する事を提案。 ・学校の特色を周知させる方法を検討、企業の協力を求め、連携を強化していくことを再確認。 ・保護者会と三者面談の実施。 ・事業計画の中に外装の修理、校舎外壁の修繕を予算組。 ・今後も、高レベル（即戦力）な人材育成に努めてほしい、少子化、美容業界の動向にも留意、学校に求められるもの、必要とされる人材の育成に努め対応してほしい。 |
| 2 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議委員会等での報告、教職員と理事との運営に関する意見交換と毎朝理事長より運営方針の徹底がなされている。 ・運営方針を反映した事業計画は毎年度作成されていることは評価。 ・生徒募集の工夫、着実な定員が必要、学校資料の見直し、予算の確保。 ・ニーズの変化に敏速に対応できる体制づくりが必要との意見。 ・事業所との連携強化、生徒募集につなげる。 ・諸経費のコスト削減、さらに教職員の意識を高める必要との意見。 |
| 3 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの内容については高い評価をいただきました。さらに技術の基本を徹底するように、国家試験合格目標は大事だが生徒の卒業後を考えサロン現場に適した、実践教育を徹底指することが話し合われた。 ・キャリア教育は世界を見据え、本年も海外からアーティストを招き、技術を見せ、指導が決定、イギリス、シェフールドの研修サロンだけでなく数件の実習先を確保、更にサポート体制を強化し、利用したい希望者が増えることも予想される。 ・高齢化社会に対してのカリキュラム、福祉美容の教育を評価された。さらに今年度介護職員初任者研修を取り入れることに対し、早急にとの提案がなされた。 ・関連企業との意見交換によりカリキュラムの見直し、教材、テキストの見直しがなされている。 ・シラバスの学生への説明は時間が費やされていた。 ・成績不振の生徒の指導には力を入れているため合格率は全国平均より高い。 ・進級・卒業の判定は適切に実施していることを、記録等で確認。 ・教員のための能力開発、研修を実施、本年度は静岡県熱海での教員を研修に参加させる予定、講師の指導力、接客レベルアップにより学生のレベルも当然アップ、教員研修の継続を提案 |
| 4 学修成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・希望者についての就職率は100%、しかし美容業界に就職しない者がいる。美容の魅力を企業の協力で伝えることで解決できないか、よいことばかり話しても就職後のギャップで離職も考えられる。自信がつくまでの間、実習を試みる必要があるとの提案。 |

| | | |
|---|----------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・OB会を組織、卒業生が社会で活躍し評価されているか把握し授業に生かす必要性 マナーの授業強化、敬語が使えないことは接客できないことで、学校生活から美しい敬語を使えるように、また 卒業後困らないようにする必要がある。 事業所との連携、実務実習。接客の専門家による授業の試みることも提案。 |
| 5 | 学生支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談の機会を増やし就職を意識させること、経済的な理由から時給の良い他業種でのアルバイトが多い、業界関係者に理解を求め事業所でのアルバイトから就職につなげることができるよう事業所との連携を取りたい。 ・学費の軽減、美容所でのアルバイトを推奨、卒業後の仕事に有利ともなる。 ・保護者との連携により教育の理解を得ているが、保護者会だけで理解が得られない場合は個別で話す時間を設けている。さらに三者面談の実施をとの意見。 |
| 6 | 教育環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回も設備について最新な機材を導入したらとの意見があり予算組を検討。 ・実践トレーニングができるコーナー（サロンを想定）を作り就職に備える環境を提案。 ・防災安全管理を定期的に確認、飲料水等を確保、連絡網のチェック、防災に関する事項を保護者にも理解していただき家族間のルールを作る提案は評価できる。 ・落下防止の工事とヘルメットの設置を指示、早急に教職員で実施することを提案 ・美容サロンの実務研修、卒業後を見据え実務を経験させることを提案 ・災害時を想定、帰宅困難者等の避難食等、計画的に備蓄を整備する必要性 ・防犯カメラを設置し、外部からの侵入等から安全が確保されたことに評価された。 |
| 7 | 学生受け入れ募集 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生案内や募集要項の記載内容は適正なものになっている。29年度は高等学校への募集活動の時期は早めに、訪問回数も多くすること事業所との連携による組織づくりの必要を提案。 ・体験入学の告示、内容も含め綿密な計画と立て、媒体紙の検討。 ・ホームページについては、学生さんや企業の意見を採用し作成、内容については学生さんの興味を引き、分かりやすくなっているとの評価。 ・募集活動上、教育成果を正確に伝えることができているのか、最大限に伝え方法を研究することを提案 |
| 8 | 財務 | <ul style="list-style-type: none"> ・借入金なしで運営してきたことは評価するが、財政基盤が安定しているとは言えない。 ・将来学生数の減少も予測され、経費の削減に努め財政基盤の安定に努めること。 ・規定に基づいての財務情報を評価。 ・学生募集について、ガイダンス、媒体等、常に費用対効果を念頭に置いたうえで、経費の有効的な使用を考えることを確認。 |
| 9 | 法令等の遵守 | <ul style="list-style-type: none"> ・専修学校設置基準、及び美容師養成施設指定規定等、関係法令を遵守し適正に運営されている。 ・個人情報の取り扱いを厳重に管理、教員専用のPCデータについても対策をとっている。 ・28年度の自己評価、学校関係者評価委員会の評価をホームページ上に速やかに公開する。 |